

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	愛仁会看護助産専門学校
設置者名	社会医療法人愛仁会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護学科(3年制)(新)	夜・通信	1615時間	240時間	
	看護学科(3年制)(旧)	夜・通信	1500時間	240時間	
看護専門課程	助産学科(1年制)	夜・通信	560時間	80時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://aijinkaischool.jp/about/disclosure/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	愛仁会看護助産専門学校
設置者名	社会医療法人愛仁会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育課程編成委員会
役割	教育課程編成委員会は学校長の直轄下に位置づけている。具体的な意思決定過程として、教育課程編成委員会において、現行カリキュラムに対する指摘事項を受けた後に、指摘事項を次年度カリキュラムへ反映するにあたり、教員会議にて審議を行う。指摘事項を運営会で共有し、学校長の決議をもって決定する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
公益社団法人大阪府看護協会 前会長 (2016. 5. 1～2022. 6. 1)	2018. 4. 1 ～ 2023. 3. 31	大阪府の保健師・助産師・看護師・准看護師を会員とする公益社団法人であり、日頃から看護の情報提供や当校教員たちの質向上の研修、養成等も連携している。
一般社団法人日本看護学校協議会 前会長 (2018. 5. 1～2021. 6. 1)	2019. 4. 1 ～ 2023. 3. 31	全国唯一の看護学校の団体として、看護学教育、看護基礎教育の質向上をめざし、社会の要請を察知しながら、より質の高い看護サービスを提供できる看護職養成について、常に追究し続ける重要な団体である。
社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院 病院長 (2016. 4. 1～)	2018. 4. 1 ～ 2023. 3. 31	社会医療法人愛仁会は、医療・介護を実務としており、当校の臨地実習病院と就職施設の関係である。
社会医療法人愛仁会 看護部 部長 (2021. 4. 1～)	2018. 4. 1 ～ 2023. 3. 31	社会医療法人愛仁会は、医療・介護を実務としており、当校の臨地実習病院と看護部の関係である。
社会医療法人愛仁会 看護部 特任理事 (2021. 4. 1～)	2022. 4. 1 ～ 2023. 3. 31	社会医療法人愛仁会は、医療・介護を実務としており、当校の臨地実習病院と看護部の関係である。
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛仁会看護助産専門学校
設置者名	社会医療法人愛仁会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育課程は、学則第18条で定められ、看護学科では旧カリキュラム98単位3015時間、新カリキュラム103単位3000時間、助産学科では33単位1055時間で編成されている。教育課程は、本校の理念である自主性と和の精神をもって、人々の健康で豊かな生活に貢献しうる看護師・助産師の育成を目指して、教育内容の見直しを行い、講師選定をおこなっている。</p> <p>また、教育課程編成委員会において、委員の方々に意見をいただき、教育内容及び教育目標到達の妥当性等を検討している。</p> <p>各科目のシラバスは看護学科では「STUDY COMPASS」、助産学科では「STUDY GUIDE」として作成している。その内容は、カリキュラムの基本的な考え方に始まり、各科目の概要及び進捗を含み、各科目については、担当講師、授業の時期、単位、時間数、科目の狙い、学習内容、評価方法、テキストを記載し、さらに関連科目や教育目標との関連がわかるように作成している。2月末頃までに講師と学科調整者がシラバス内容について確認を行い、3月末頃に冊子を完成させ、6月に学校HPにて公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://aijinkaischool.jp/disclosure/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の評価及び単位の認定については学則第19条に定められている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 単位の認定は、授業科目毎の評価(試験、学習状況、学習報告等)により行い、運営会の議を経て認定する。 2. 出席時間数が授業時間数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。 3. 各授業科目の評価は、本条第1項による評価の点数により、秀(90点以上)、優(80点~89点)、良(70点~79点)、可(60点~69点)、及び不可(60点未満)の5段階で評価し、可以上を合格とする。 4. 前項の評価に対して、グレード・ポイント(以下「GP」という)を用いる。GPの平均値であるグレード・ポイント・アベレージ(以下「GPA」という)に関する事項は別に定める。 5. 学校長は、病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができなかった者、または不合格の者に対し、追試験又は再試験を行うことができる。 6. 授業時間が不足して評価を受けられない者、または再試験の結果不合格となった者は、単位が未認定となり、再履修しなければならない。 	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
 グレード・ポイント・アベレージ (以下「GPA」という) 制度による評価について必要な事項を定め、透明性のある成績評価を行っている。
 成績評価並びに評点に対する GP は下記の表のとおりとする。

成績評価	評点	GP
秀	90 点以上	4
優	80 点～89 点	3
良	70 点～79 点	2
可	60 点～69 点	1
不可	60 点未満	0

GPAの計算式は、次の定めるところによるものとし、算出された数値の小数点第3位以下を切り捨てて表記する。

(1)年度GPAの計算式

$$\text{年度GPA} = \frac{(\text{その年度に評価を受けた科目で得たGP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{その年度に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

(2)通算GPAの計算式

$$\text{通算GPA} = \frac{((\text{各学期に評価を受けた科目で得たGP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の合計}) \text{の総和}}{(\text{各学期に評価を受けた科目の単位数の合計}) \text{の総和}}$$

年度末に成績確定後、GPA を記載した成績通知書・成績証明書を学生へ返却するとともに、成績分布状況を作成し成績管理を行っている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://aijinkaischool.jp/disclosure/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
 本校は、自主性と和の精神をもって、人々の健康で豊かな生活に貢献しうる看護師・助産師を育成する。また、看護専門職としての知識と技術を教授し、高い倫理観と使命感を持ち、広く社会に貢献できる看護師・助産師を育成する。「期待される卒業生像」として、育成人材像を明示している。卒業生像は、教育理念、教育目的を受けて、看護師・助産師としての専門性、倫理性、自律性、判断力、実践力の側面から具体的に看護学科 10 項目、助産学科 12 項目を示している。

卒業については、学則第 21 条に定め、所定の単位数を取得した者について、2 月頃運営会の議を経て、卒業を認定する。また欠席日数が出席すべき日数の 3 分の 1 を超える者については卒業を認めない。

本校の教育課程を修了し、卒業する者には、職業実践専門課程及び専門士 (医療専門課程) の称号が与えられると同時に、保健師助産師看護師法第 20 条並びに第 21 条により、助産師国家試験及び看護師国家試験を受験することができる。

卒業認定については、学校 HP に公表している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://aijinkaischool.jp/disclosure/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	愛仁会看護助産専門学校
設置者名	社会医療法人愛仁会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.aijinkai.or.jp/pages/kessan2021.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.aijinkai.or.jp/pages/kessan2021.html
財産目録	http://www.aijinkai.or.jp/pages/kessan2021.html
事業報告書	http://www.aijinkai.or.jp/pages/kessan2021.html
監事による監査報告（書）	http://www.aijinkai.or.jp/pages/kessan2021.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護学科（旧）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3015 単位時間 単位	1950 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	1035 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		154人	0人	18人	106人	124人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護学科（新）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3000 単位時間 単位	1725 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	1035 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
—		75人	0人	—	—	—	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

教育過程は、学則第18条で定められ、看護学科では旧カリキュラム98単位3015時間、新カリキュラム103単位3000時間で編成されている。各科目のシラバスは看護学科では「STUDY COMPASS」として作成し、入学時に学生に配布している。その内容は、カリキュラムの基本的な考え方に始まり、各科目の概要及び進度を含み、各科目については、担当講師、授業の時期、単位、時間数、科目のねらい、学習内容、評価方法、テキストを記載し、さらに関連科目や教育目標との関連がわかるように作成し

ている。
 ※2022年度は新旧カリキュラムが同時進行しており、上記の表を分けて記載している。生徒総定員数や教員数等は新旧カリキュラム共に相違がないため、旧カリキュラムにまとめて記載している。

成績評価の基準・方法

(概要)

成績評価並びに評点に対する GP は、下記の表のとおりとする。

成績評価	評点	GP
秀	90 点以上	4
優	80 点～89 点	3
良	70 点～79 点	2
可	60 点～69 点	1
不可	60 点未満	0

GPA の計算式は、次の定めるところによるものとし、産出された数値の小数点第 3 位以下を切り捨てて表記する。

G P A の計算式

(1)年度GPAの計算式

$$\text{年度GPA} = \frac{\text{(その年度に評価を受けた科目で得たGP} \times \text{その科目の単位数)の合計}}{\text{その年度に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

(2)通算GPAの計算式

$$\text{通算GPA} = \frac{\text{(各学期に評価を受けた科目で得たGP} \times \text{その科目の単位数)の合計の総和}}{\text{(各学期に評価を受けた科目の単位数の合計)の総和}}$$

卒業・進級の認定基準

(概要)

- ・科目の単位を全て取得
- ・出席すべき日数の 3 分の 2 以上の出席

学修支援等

(概要)

- ・入学前のガイダンスにて学校全体の説明。
- ・入学後のオリエンテーションにて学科概要を説明。
- ・設置主体の本部人事部並びに看護部と協力した就職指導。
- ・個別相談、保護者面談で学生の状況を把握。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
72 人 (100%)	5 人 (6.9%)	67 人 (93.1%)	0 人 (0%)

(主な就職、業界等)

- ・病院

(就職指導内容)

2 年次にキャリアガイダンス、3 年次には法人主催の就職セミナーの開催及び、夏季休暇中に法人施設へのインターンシップの参加。

(主な学修成果(資格・検定等)) ・看護師国家試験 72 名合格
(備考) (任意記載事項) ・看護師国家試験合格率 100%

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
236 人	11 人	4.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・臨床心理士によるカウンセリング ・学生の個別相談は随時対応できる体制をとり、問題解決を図っている。 ・看護学科(1、2年生)に対しては春休みを中心に学生・保護者・教員の三者面談を実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	助産学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	1055 単位時間 / 単位	270 単位時間 / 単位	290 単位時間 / 単位	495 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
		単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15 人		15 人	0 人	4 人	30 人	34 人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)		
(概要) 教育過程は、学則第 18 条で定められ、助産学科では 33 単位 1055 時間で編成されている。各科目のシラバスは、助産学科では「STUDY GUIDE」として作成し、入学時に学生に配布している。その内容は、カリキュラムの基本的な考え方に始まり、各科目の概要及び進捗を含み、各科目については、担当講師、授業の時期、単位、時間数、科目のねらい、学習内容、評価方法、テキストを記載し、さらに関連科目や教育目標との関連がわかるように作成している。		
成績評価の基準・方法		
(概要) 成績評価並びに評点に対する GP は、下記の表のとおりとする。		
成績評価	評点	GP
秀	90 点以上	4
優	80 点～89 点	3
良	70 点～79 点	2
可	60 点～69 点	1
不可	60 点未満	0

GPA の計算式は、次の定めるところによるものとし、産出された数値の小数点第 3 位以下を切り捨てて表記する。

G P A の計算式

$$\text{GPA} = \frac{(\text{評価を受けた科目で得たGP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

卒業・進級の認定基準

(概要)

- ・科目の単位を全て取得
- ・出席すべき日数の 3 分の 2 以上の出席

学修支援等

(概要)

- ・入学前のガイダンスにて学校全体の説明。
- ・入学後のオリエンテーションにて学科概要を説明。
- ・設置主体の本部人事部並びに看護部と協力した就職指導。
- ・個別相談、保護者面談で学生の状況を把握。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14 人 (100%)	0 人 (0%)	14 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
・病院			
(就職指導内容)			
助産学科：法人主催の就職セミナーの開催。			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
・助産師国家試験 14 名合格			
(備考) (任意記載事項)			
・助産師国家試験合格率 100%			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	1 人	6.7%
(中途退学の主な理由)		
進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士によるカウンセリング ・学生の個別相談は随時対応できる体制をとり、問題解決を図っている。 		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	250,000 円	300,000 円	300,000 円	施設設備費、教材費等
助産学科	200,000 円	360,000 円	600,000 円	施設設備費、教材費等
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・愛仁会貸付奨学金制度 (看護学科) ・高等教育の修学支援新制度 ・専門実践教育訓練給付対象校 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://aijinkaischool.jp/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校関係者評価委員会は、学外の専門領域に関する有識者等で構成し本校の自己点検・自己評価に基づき、学校関係者評価を行い、客観性を持った評価を実施することで、教育活動及び学校運営を円滑に推進することを目的として実施している。</p> <p>評価結果の活用方法としては、教育内容に関するものは、教育課程編成委員会に反映させて、カリキュラム検討委員会にて改善を図っている。その他学校運営に関することは運営会及び職員会議等で検討し、学校運営全体の質向上に努めている。</p> <p>委員会を構成する委員は、4名以上とし、本校職員以外のもので、設置法人職員・卒業生・看護教育に関する有識者等から、学校長が委嘱する。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
関西福祉科学大学 学長	2020年4月1日～ 2023年3月31日 (任期更新)	学術機関の有識者
社会医療法人愛仁会 理事兼本部局長	2021年4月1日～ 2023年3月31日 (任期更新)	企業等委員
社会医療法人愛仁会 看護特任理事	2021年4月1日～ 2023年3月31日 (任期更新)	企業等委員
明石医療センター附属看護専門学校 副学校長	2021年4月1日～ 2023年3月31日 (任期更新)	学術機関の有識者
愛仁会看護助産専門学校同窓会 会長	2021年4月1日～ 2023年3月31日 (任期更新)	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://aijinkaischool.jp/disclosure/
第三者による学校評価 (任意記載事項)
私立専門学校等評価研究機構令和2年度第三者評価 (2021年3月31日) 日本助産評価機構 2020年度専修学校/専門学校第三者評価 (2021年3月31日)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://aijinkaischool.jp
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

*「-」は、個人情報へ配慮するための伏字であり、記載すべき合計値等には一切影響を与えないことに注意すること。

学校名	愛仁会看護助産専門学校
設置者名	社会医療法人愛仁会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		35人	34人	37人
内 訳	第Ⅰ区分	18人	18人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				一人
合計（年間）				41人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。